

するやうに持つてこそ、初めて可能な心。  
後つて、この労組組合の全線的統一の事業——下からの統一の事業——を遂行するに当り、何れも殊に、『自ら奮力する階級の労組組合を結成すること』が必要である。それ以上に、我々の一切の階級の方針は、方針倒れに終り、空論に終る。  
此の意味に於て我々は、我々が階級の労組組合の結成を目標に、現在全国各地に散在してあるすべく、階級の労組組合の戦線統一を日程に上せねばなる。此の運動は、それが全国各地の戦線的労組者大衆の階級的熱意に立脚するものである以上、必ずや、成功せしむべきものである。我々は、いま、此の戦線統一運動の具體的日程に際して、我々自身の熱意を磨らねばならず同時に、全口の同志の諸君の、この運動への積極的参加を切望するものである。

一九三四年七月二十三日

### 全労統一全国会議

我々も、今度、『強力なる新同盟』の結成を目標として、全口の多数の組合に戦線統一を提唱しました。我々としては、黄組合に對しても、我々の組合との統一を心から希望してゐるのであります。映画関係の諸組合としては、先づ『映画従業員組合の全線的統一』を完成することが、一番肝心だと考へましたので、此の際には、諸君等の統一運動と、我々の統一運動とを並行的に進め、お互の統一運動が一応、完成した暁に於て、お互に提携して、『全口的組合会議』を樹立するやうにしたいと考へるのであります。この全口的組合会議には、文通総聯盟、自由聯合会なども参加するやうにしたいと思います。さうすれば、我々の陣営は非常に強化されるわけです。

とにかく、お互にとつては、当面、各自が目標としてゐる戦線統一運動を、一人一人押し進めることから要だと思ひます。今后も、お互互に、熱心に助け合ひ、一線せんれなる階級的任務を遂行しましょう。  
黄組合の拡大強化と、より一層の御奮闘を熱望します。

一九三四年、七月二十三日

全労統一全国会議  
江東地方従業員組合協議会  
日本労働組合總評議会

殿